

「とよいち」では2010年の夏から、3ヶ月に1回のペースで学習会を開いています。
以下は第1回の学習会開催の呼びかけチラシです。

とよいち主催 学習会

「とよいち」では、下記のような学習会を開きます。

1. テーマ 「知多半島南部で障がいのある人の地域生活を支援する」

2. 参加を呼びかける対象者

とよいちスタッフと障がい児者の地域生活を充実したものにするために、とよいちを定期的に利用して下さっている支援者

3. 目的

とよいちでの活動を企画運営している方々は、活動自体を大いに楽しんで下さっています。しかし、現在行っている活動が単発のイベント的なもので終わってしまうのではなく、障のある方にとって長期的にみても意義あるものにしていきたいと考えておられます。とよいちスタッフも思いは同じです。

そこで、愛光園の前施設長の廣瀬治代先生の講話を拝聴し、障がいのある人の生活あるいは人生に寄り添うために、今後どんな行動を起こしていったらよいか考える基本を学びたいと思います。

4. 日時 平成22年7月24日(土曜日)

午後4時00分～午後7時00分

5. 場所 とよいち

6. 人員 20人程度

7. 講師紹介

廣瀬治代先生

社会福祉法人愛光園の理事であり前施設長。今も現場中心の信念を貫き、現在も愛知県にとどまらず、現場指導や相談やボランティアに日々飛び回っていらっしゃいます。

「障がいのあるなしにかかわらず地域で共に楽しく生きたい」と考えるとよいちの理念は、廣瀬先生のお考えや行動に強く影響を受けています。

平成26年9月の時点で17回の学習会を重ねてきた間に多くの学びや出会いがありました。

見出しの「僕は僕らしく・・・」という自分自身を深く探求した資料を作った坂本健太朗君との出会いもこの学習会でした。幼い頃に壮絶ないじめにあったにも関わらず、自ら周りの人と仲良くしていこうという努力をする少年の話を聞いて、学習会参加者は健太朗君の純粋な気持ちと勇気と努力を惜しまない心に感銘を受けました。そこで、本ホームページに健太朗君の研究資料を掲載させていただくことをご本人とお母様にお願ひし掲載に至りました。

お母様からのコメント

物凄い勇氣と苦しみの中で作成したこの文書が沢山の人の心に届いて欲しいな・・・と健太朗と願っています。

健太朗君からのコメント

僕の名前年齢など出して全然構いません。

「僕は障害がある事は悲しいことではないし、嫌なことでも何でもないんだよ。

障害を持っている僕でも、やっぱり障害を悲しいとも思っていないよ。

障害を持っているからこそ、こんな文章も書けたわけだし、すごい特殊な才能を持っているわけなんだよ。

だから悪いことばかりじゃないし、ほかの人にはない才能を持ってるってすごいことだと思う。

僕の自由研究が、僕みたいに悩んでいる人たちの励みになってくれたら良いなあ・・・」

皆様には坂本健太朗君とお母様のお気持ちをご理解の上お読みいただきたいと思います。また、健太朗君の思いに共感されて他の方にも広めたいとお考えの場合、拡散して下さって結構ですというご本人の了解を得ております。 (とよいちの娘)